

開館記念

40周年草加市立中央公民館

中央公民館は開館40周年を迎えます。生涯学習の拠点として様々な講座を実施する他、市民の皆様のサークル活動の支援を行っています。

今後も地域の皆様が利用しやすい施設運営を目指していきます。



| | |
|----------|--|
| 開館日 | 昭和56年10月20日 |
| 所在地 | 草加市住吉2-9-1 |
| 利用施設 | ホール、第1～3会議室、第1・2講座室、第1・2体育室、和室、視聴覚室、美術工芸室、調理室他 |
| 特色 | 市最大の社会教育施設であり、コンサート、演劇、講演会、発表会など芸術・文化・学習の場として利用されています。 また、子どもからお年寄りまで誰でも気軽に利用できる社会教育施設を目指し、利用団体等とともに中央公民館まつりをはじめ、様々な事業を実施しています。 |
| 40周年に向けて | 開館40周年を迎えるため、記念事業を計画しています。 |

中央図書館

中央図書館は、獨協大学前(草加松原)駅西口徒歩1分、市内唯一の図書館です。図書資料を数多く、種類も豊富に取り揃えています。読書に携わる市民ボランティアと連携して、子どもと本が出会う機会を増やすとともに、草加市子ども読書活動推進計画や誰もが使いやすい読書環境の整備を積極的に推進しています。

4階児童室にお越しく下さい!

3階一般室には新聞・雑誌のコーナーや中高生向けのヤングアダルトコーナー、インターネットを利用できる席も設置しています。

4階は児童室、子どものフロアです。絵本や物語、知識の本、乳幼児向けの児童雑誌等を数多く取り揃えており、「おはなし室」では、週4日絵本や紙芝居の読み聞かせを行っています。読み聞かせの参加者には「よみきかせカード」のシールを集めると、ちょっとしたプレゼントをお渡しします。また、読み聞かせ以外にも親子で参加できるイベントを数多く開催しています。

施設の利用時は新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をいただきますが、昨年8月に一般室・児童室入口前に書籍除菌機を設置しましたので安心して読書をすることができます。

草加市電子図書館をご利用ください!

インターネットにつながるスマートフォン、パソコンなどがあれば場所や時間を問わず電子書籍を読むことができます。

ティーンズ向け、ライトノベル、児童室おすすめ本、旅に関する本など特集を組んで本を紹介しています。

また、バリアフリー対応の電子書籍として、音声読み上げ機能や文字拡大機能付きの図書、動く絵本等も取り入れています。

| | |
|---------|---|
| 対象者 | 市内在住、在勤、在学で図書館利用カードを持っている方 |
| 貸出・予約点数 | 1人各3点まで |
| 貸出期間 | 15日間 |
| 利用方法 | 草加市電子図書館にアクセスし、図書館利用カードに記載の9桁の番号と、パスワード(図書館ホームページ等で設定)でログインします。 |

- 所在地 草加市松原1-1-9
- 電話 048(946)3000
- FAX 048(944)3800
- 電子図書館 URL www.d-library.jp/sokad/



訪ねてみました文化財…②

疫病退散 清右衛門新田の疱瘡守護神

この2年、草加市も新型コロナウイルスのまん延により、日々の生活は大きな影響を被りました。マスクの着用、手指の消毒、三密防止はまだまだ続き、気を抜くことはできません。

ところで我が国は、疫病には何度も苦しめられてきました。百年前のスペイン風邪も、明治時代のコレラも、そして江戸時代以降は疱瘡(天然痘)が何度も襲ってきました。これに対して当時の人々は、衛生への配慮や予防より神・仏に祈ることで、早期の収束とその後の無病息災を願いました。



清右衛門新田の疱瘡守護神

清門二丁目の稲荷神社には、宝暦11年(1761年)9月、村人を疱瘡から守るための石祠が建てられました。順海という僧侶を中心に地域の人々の浄財によるもので、当時の人々の熱い思いは、コロナ禍の今だからこそ私たちにも十分理解できます。

なお、襲い来る疫病に対する公衆衛生の思想は明治以降に定着しますが、医療については明治21年(1888年)、草加町に避病院(隔離病舎)が建設され、さらに大正4年(1915年)8月、大相模村・蒲生村・川柳村の三村連合で蒲生村に、昭和3年(1928年)9月、草加町・谷塚村・新田村の三町村連合で草加町に避病院が建てられるまで待たねばなりませんでした。

“れきみん”へ行ってみよう

今から95年前に建設されたレトロな鉄筋校舎を改修した歴史民俗資料館(れきみん)では、ふるさと草加の歴史や四季折々の日本文化をテーマとした企画展やイベントを開催しています。

アウトホームな雰囲気漂う“れきみん”で、草加について学んでみませんか?

- 所在地 草加市住吉1-11-29
- 開館時間 午前9時～午後4時30分
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
- 電話 048-922-0402
- アクセス 草加駅東口の「駅前一番通り」を北へ、徒歩約7分。草加小学校西門隣
- 入館料 無料
- 常設展示 綾瀬川の丸木舟(縄文時代)、谷塚地域の土器(古墳時代)、草加宿・草加松原の歴史(江戸時代)、懐かしい農機具、せんべい製造機具ほか

| 開催日 | 企画展名 |
|-------------|---------------------------------|
| 6月下旬～7月上旬 | ミニ企画「七夕かざり」 |
| 7月上旬～8月下旬 | 夏季企画展「きて・みて・感じて草加の歴史-遺跡から見る草加-」 |
| 9月上旬 | ミニ企画「重陽の節句展」 |
| 10月上旬～12月上旬 | 秋季企画展「火消の歴史-草加八潮消防局へのあゆみ-」 |
| 2月上旬～3月上旬 | 冬季企画展「桃の節句展」 |

| 開催日 | 講座名・教室名 |
|------------|--------------------|
| 10月中 2回 | 節句飾り制作講習会(つるし雛かざり) |
| 11月中 2回 | 節句飾り制作講習会(ミニ鑑兜) |
| 1月下旬 | まが玉作り |
| 毎月第1・3週(木) | 古文書基礎講座 |
| 毎月第2・4週(木) | 古文書応用講座 |
| 毎月1回 | 蓄音機コンサート |
| 隔月1回 | 常設展示解説 |

ほか、歴史について講演を行う、れきみん講座を1か月に一度程度開催します。

| 開催日 | 体験教室内容 |
|--------|------------------------|
| 7月上旬 | 「七夕かざりを作ろう」 |
| 7月中旬 | 「土器で学ぼう」 |
| 8月上旬 | 「竹風車・竹水鉄砲」 |
| 8月下旬 | 「藍染めハンカチ」 |
| 11月上旬 | 「昔の道具を使ってみよう」 |
| 11月14日 | 「まが玉作り」 |
| 12月中旬 | 「和風作り」 |
| 1月上旬 | 「昔遊び大会」 |
| 2月中旬 | 「ひなかざりを作ってみよう」 |
| 通年 | 子どもたちの自由研究相談とビデオライブラリー |

※内容・日時等は変更となる場合があります。詳細は歴史民俗資料館へお問い合わせください。

教育支援室

- 住所 〒340-0013 草加市松江1-1-32
- 電話 048-933-7591 FAX 048-933-7590

教育支援室では、落ち着いた教育環境の中で学習が行えるよう、様々な形で各学校の教育活動の支援に当たっています。

相談の手順

- 電話相談は随時行っています。
- 面接相談は予約制です。電話等でお申し込みください。
- ①申し込み・予約
電話受付時間
平日 午前9時～午後5時
耳の不自由な方は、FAXでもお受けします。
- ②来室・受付・相談
予約時刻までにお越しください。
係の者がお部屋までご案内します。



利用案内

- 在学児童生徒の教育相談(不登校等)** 小中学生のいじめ・不登校等の学校生活の相談、家庭生活での心配事等の相談
毎週火・木・金曜日 午前9時～午後5時
- 在学児童生徒の発達相談** 小中学生の発達の様子や日常生活の様子等の相談
毎週水・木曜日 午前9時～午後5時
- ことば(きこえ)の相談** 主に小学校入学予定児の相談。発音の誤りや言葉の繰り返し等に関する相談
毎週月・火曜日 午前10時～午後5時
- 就学予定児の就学相談** 主に小学校入学予定児の小学校入学に向けての相談、発達や就学についての相談
毎週月・水・金曜日 午前9時～午後5時



学校適応指導教室「ふれあい教室」の開設
様々な理由により学校に通えない児童生徒が、自分に合った計画を立て、それに基づいて学習や生活を行いながら、自立の力や人間関係づくりに自信を持ち、学校に復帰できるよう支援しています。少人数集団の中で、指導員や周囲の児童生徒たちと関わり合いながら、学習・運動・校外学習・調理実習等、多様な活動を行い、学校復帰を目指しています。

※コロナ禍でも、感染防止策を講じつつ相談活動を継続しています。安心して相談にお越しください。お電話による相談もお受けしています。